

▶新緑の自然を満喫◀ 船通山ブナ林自然観察会



▲自然観察指導員から説明を受ける参加者

新緑深まる六月一日、船通山でブナ林自然観察会が開かれ、県内外から約三十人が訪れました。
参加者は、亀石コーズ駐車場を出発すると、自然観察指導員の説明のもと、船通山の植生について語り合い、自然の空気を満喫、鳥のさえずりを楽しみながら登山を行いました。
ブナ林は船通山をはじめ、吾妻山、大万木山など県内ではわずかししか残っており、その高い保水機能と地域のみずがめとしての水源かん養機能の重要な役割を果たしています。
参加者は自然の大切さを学び、自然と共生していくことの大切さを改めて実感していました。

第四回 奥出雲町

小学校連合体育大会

五月二十一日、第四回奥出雲町小学校連合体育大会が三成運動公園陸上競技場において開催されました。
好天の中、トラックとフィールドでは二十五種目が行われ、町内小学校の三年以上の児童全員が参加しました。
児童達は、日頃の練習の

成果を存分に発揮し、自己記録への挑戦、他校との親睦を深めました。
会場には多くの保護者や関係者が訪れ、元気いっぱい走る児童に熱い声援を送っていました。
なお、今大会では十種目で新記録が生まれました。



▶元気いっぱい力走



子どもたちがアユを放流 斐伊川で水辺の教室

魚の住めるきれいな川を守ろうと横田公民館と斐伊川漁協横田支部では、昭和六十三年から毎年水辺の教室を開いています。
五月十二日には、横田幼稚園と横田小学校の三年生約六十人が参加し、横田庁舎裏の斐伊川河川敷でアユの稚魚二千匹を放流しました。
勢いよく飛び跳ねるアユに苦戦しましたが、みんなで協力し、稚魚が大きく育つよう願いました。
子供たちは今後、斐伊川の水質検査や宍道湖の清掃などを行い、環境について学ぶ予定です。



▶アユの成長を願い放流

平成二十年度 第一回 奥出雲町肉用子牛共進会開催

平成二十年度の第一回奥出雲町肉用子牛共進会が六月六日、仁多中央家畜集合所において開催されました。
当日は町内九地区から選ばれた四十一頭の肉用子牛が、審査員によって個体審査、比較審査されました。
審査結果は次のとおりです。



▲首席に輝いた「ふくひらしげ7号」

成績(序列)	名号	出品者	地区
特選賞 首席	ふくひらしげ7	森山 義治	馬木
特選賞 次席	かねひら	丸山 常義	横田
特選賞 三席	ゆうひろ6	小池 俊彦	横田
特選賞 四席	いちよう	児玉八重子	鳥上
特選賞 五席	あやね	部田 泰久	八川
団体優勝			

尾原ダムでどんぐりの森づくり 児童たちが苗木600本を植樹



▲コナラの苗木を植える児童たち

六月五日、建設工事が進む尾原ダムの奥出雲町山方地区で、斐伊川上流と下流の小学校十二校の児童ら約二百八十人が参加して、コナラの苗木約六百本を植樹しました。
この植樹は、国土交通省、県、雲南市、奥出雲町、斐伊川くらぶでつくる実行委員会が主催して、平成十二年から毎年行われています。
昨年までに延べ百三十七校、約三千四百人の小学生が参加し、六千本を超えるどんぐりの苗木が植樹されています。
はじめに斐伊川・神戸川総合開発事務所の中川哲志所長

保育所園児が 茶摘み体験

五月二十七日、町内の保育所園児約三十人が、三成保育所の茶畑で茶摘み体験交流を行いました。
この交流会は、自然の中の活動を通して自然の恵みを感じ取り、命の大切さを知ってほしいと昨年から行われています。
園児たちは、先生や地域の人に教わりながら一生懸命新芽を摘み取り、他園の友達と交流を深めました。

